



教育目標～夢をもち 心豊かに ともに未来を切り拓く～



きたおか

令和5年(2023年)7月3日
豊中市立北丘小学校
学校だより NO. 7

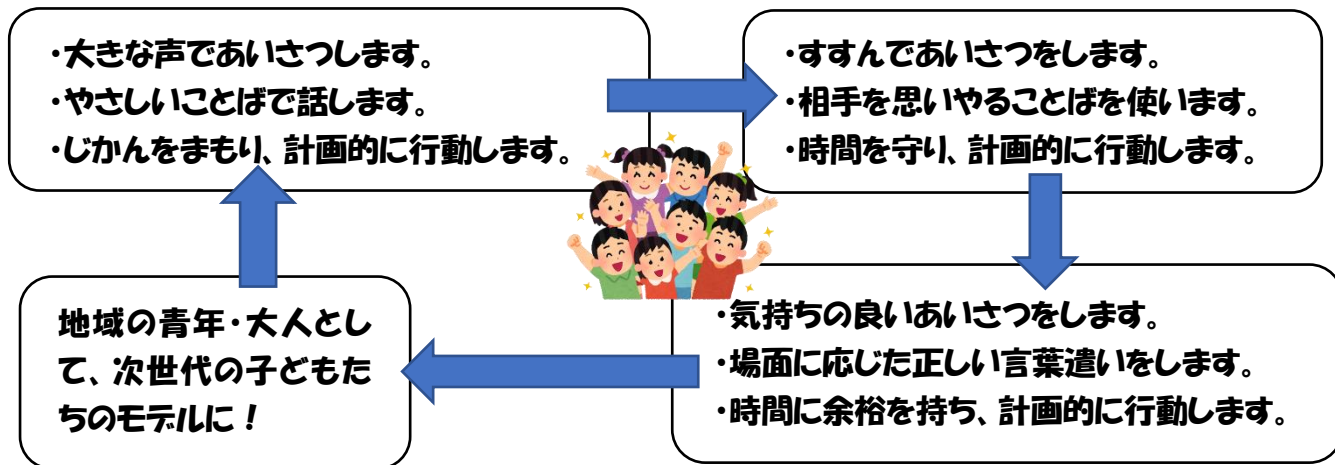
早いもので、もう7月です。いよいよ1学期のまとめの時期を迎えました。遠足、校区探検、校外学習、運動会、出前授業等、442名の子どもたち一人ひとりが大きな行事を経るごとに成長していく様子を頼もしく感じています。

プール開きとなり、梅雨明けはまだですが、夏らしい授業が始まっています。通常通りの授業を展開いたしますが、集まった時や着替えの時におしゃべりは控える、など感染予防にも気を配りながら実施してまいります。



大切にしよう「あいさつ」「ことば」「時間」

さて、第八中学校校区の1中2小(八中・東丘小・北丘小)では、学校教育目標のほかに、三校共通の生活目標を設定しています。校長室の前にも掲げてありますので、ご覧になっておられるかたも多いと思います。小学校低学年(1～3年生)・高学年(4～6年生)・中学生の3段階で、ステップアップしていきます。子どもたちが「あいさつ」「ことば」「時間」についての共通の価値観を持ち、地域全体で大事にしていけたら素敵ですね。地域のおとなの方々にもこの共通目標を知っていただき、こどもたちに促していただけたらありがたいです。また、この校区で育った子どもたちが、地域の青年・おとなとして、次の世代の子どもたちのモデルになることを願っています。



【時間にかかわる学校の工夫の一つ】

本校では、業間休み(20分休憩)の後の、3時間目開始(10時40分)の予鈴として10時37分に一回チャイムが鳴ります。そして、もう一回10時40分にチャイムが鳴り、3時間目が始まります。同じように昼休み終了チャイム(13時20分)の3分前、13時17分にも予鈴が鳴ります。どちらも次の授業に間に合うように、行動に余裕を持たせるための工夫です。子どもたちは、これらの予鈴をよく守っていて感心します。先日、八中のオープンスクールに寄せていただきました。予鈴がなくとも時間前行動ができている姿を見て、三校共通の生活目標の成果を感じました。

ガンバ大阪の選手がやってきた！ ～ガンバ大阪ふれあい活動から～



山見選手

高尾選手

6月12日、ガンバ大阪の「山見大登(やまみひろと)選手」と「高尾 瑠(たかおりゆう)選手」の2名(ほかスタッフ数名)が北丘小学校を訪問し、5年生とふれあいました。山見選手は、2012年度の本校の卒業生だそうです。

この活動は、ガンバ大阪が、青少年健全育成を目的として、ホームタウンである北摂地域を中心に実施している事業です。子どもたちは、現役の選手に大喜び。一緒にパス練習やミニゲームに取り組む場面では、積極的に手を挙げて参加の意志を表していました。また、4時間目の実施と言うことで、5年生の学級でそれぞれ一緒にお昼の食事もとってくださいました。北丘っ子の先輩でもあり、現在活躍中の選手との出会いに、子どもたちには未来への夢を広げてほしいと思います。



6年生のジャガイモの収穫

6月14日6年生が、昨年度5年生の時に畑に植え付けたジャガイモを、「畑のある交流サロン」の皆様のご指導のもと収穫しました。子どもたちは、見つけるたびに「あった!」「大きい!」「まだある!」など喜びの声をあげていました。掘り出したジャガイモを袋に入れると、膨らんだ袋を見ながら「シチューにしてもらう」「うちはカレー」などと食する楽しみを話していました。



4年生のパッカー車体験

4年生は、社会科で家庭から出されたごみがどのようにリサイクルや処分されていくのかについて学習しています。6月9日は、パッカー車(ごみ収集車)の仕組みや動きを学びました。また市の環境事業部の職員さんのお話も聞き、その中には、容器に液体が入ったまま燃やすごみとして捨てると、パッカー車でつぶした時に、液体が飛び散るので、気を付けてほしいというお話もありました。私たちの日常に欠かせないごみの処理ですが、豊中市の約束をしっかり守り、ごみを減らしていく工夫を心がけ、子どもたちが生きる未来をより良いものにしていきたいですね。

